

1. 件名: 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所の核燃料物質使用変更許可申請に係る面談

2. 日時: 令和3年10月11日(月)11時00分～12時20分

3. 場所: 原子力規制庁10階南会議室※TV会議により実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

真田安全審査官、本多主任安全審査官、佐久間安全審査専門職

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料サイクル工学研究所 環境技術開発センター

再処理技術開発試験部 研究開発第1課長 他5名

5. 要旨

(1) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(以下「原子力機構」という。)から、令和3年7月12日付けで申請のあった核燃料物質使用変更許可申請書(以下「本申請」という。)に関して、令和3年9月27日に行った面談における原子力規制庁からの指摘について、資料に基づき、説明があった。

(2) 原子力規制庁からは、本申請に係る事実確認を行うとともに、以下の点を伝えた。

<高レベル放射性物質研究施設について>

○貯蔵棚が1F燃料デブリを貯蔵する容量を有することについて説明すること。

<ウラン廃棄物処理施設について>

○ウラン廃棄物処理施設で実施するフィルタの減容処理作業について、管理区域境界の線量評価を含む、使用施設等の位置、構造及び設備の基準に関する規則第三条への適合性を説明すること。

(3) 原子力機構から、原子力規制庁からの指摘に対して、次回の面談で説明するとの回答があった。

6. 提出資料

・高レベル放射性物質研究施設(CPF)の核燃料物質使用変更許可申請について